

鈴木組を告訴

あうゆるる方法で
その非を追求!

鈴木組がヤークの深根絶滅を企てたといふことは、昔からみんな知っていた。そして人夫出しをその資金源にしていたといふこともである。仕事に行つて、文句を言いなされた労働者は何人もいた。あつて、あつてとそれと泣き寝入りして来たから、今まで大した問題にはならなかった。今度はじめて泣き寝入りしなかつた。そして、鈴木組はセンターに求人にも来ないでいる。

★ 社長鈴木正九郎を逃がした西成署

5月28日の朝、センターで鈴木組が労働者に何をしようかみんな知っていた。どう、鈴木組組長の何名かがそれぞれ木刀を手に、向か無用でむぐりかかつた。それは若い組員のはなめかりまんがでなく、一着最初木刀でむぐりかかつたのは社長から、社長の命令でやつた計画的なことだ。オ、求人に来るのに何故木刀が何本もいるのか。

そして、西成署はこの事件に対して何をしたのか。

署長の目前で木刀をふりまわし、労働者を追いかけて組員を仕方がないから一人バク。たもの、主犯の社長に対してはバクルどころか、保護してやったのだ。そして、いぬいぬにも社長を病院にまで連れて行ってやり、しかもその病院で社長にトンコされていく。いまだに社長は行方不明で、西成署はバクルをみせる

い。

その労働者が鈴木組と同じことをしてどうなるか。そんなことは言わずに知れたことだ。あ、という面は金儲け。関係の悪い者までバク。ていくだろう。

★ 26、27日の何があつたのか。告訴事件

2度の不法監禁、暴行、致傷

26日、市内、町工士といふことで鈴木組に仕事に行つた労働者が、東大阪市と浪花町に行つてくると言われた。約束がうらうらと抗議すると、社長は「奈良市内も市内だ」と居残り、「この鈴木を何やと思ふんや、しょうせん」といふことを来た。そして皆で一緒に抗議するとやれアアアとか言う。そこまではアアアとやることも問題はいからである。結果(1)、社長は「一人も帰すな」と組員に命令し、抗議した労働者一人を直行の労働者と別して、車に乗せられ、暴力的に押しやり、外へ出る唯一の道に壁張りをつくらせ、労働者のすぐそばにも壁張りを4人つけた。

つまり労働者をあつち、不法監禁状態にして社長は労働者に代表を出せと言つたのである。労働者も、このままでは、仕事に行くことも、逃げることなどもないので、その場で代表を決め話し合つた。結果、何くことになったのである。しかし、このことを覚えて

をゆくバカはいない。そして東大阪市の現場を割り当てられた労働者は二人トンコしたのだ。これからがぬきぬきとあうゆるる方法。

結果(2) そのトンコした労働者の一人が、夕方センター北側で夜勤を探しているところ、西成署の者だ、一寸いいとセンターの中へ突ぎこばれた。中にいた4人の鈴木組員につかまり、車にのせられ、杭金町の車庫前まで。車庫の入口には木刀をもち、二人の組員を立たせ、中では木刀で持ち出し、何が何とて、荷問も曉いた。

や、と帰れるようになった時、社長は「今朝文句言つた奴が、首をさして、明日の朝バスの所へあやまりに来い、そしてあやまるしてやる」と言つた。そして翌朝、もちろん誰もあやまりには行かない。すると一緒に抗議した労働者一人を夏つて、四人ばかりで車に押し込み、連れ去らうとした。しかしそれを夏つていく多くの労働者が助け出したというオウマツ。

以上が28日の事件に至つた原因となりゆきである。

★ 出口話のなりゆきと注目点

以上の理由により、鈴木正九郎以下3名の組員を西成分會が告訴することになった。しかし今後のなりゆきに注目して欲しい。とにかく取り調べるのは、いままでヤークとオカマをホリつづけて来た相手、西成署だといふことなのだ。

倉庫は、いろいろな方法を、いろいろな使いわけることにあつて、みんなが平等と相める。自信で。